

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成20年12月

岐阜県中津川市

I. ポイント

○計画期間;平成20年7月～平成24年3月(4年9ヶ月)

(1)概況

岐阜県中津川市の中心市街地は、中山道の宿場町を起源として発展してきた。そのため、歴史的な街並みや建築物等が多く現存しており、貴重な資源となっている。これらの歴史的・文化的資源により、中心市街地への来訪者が多く訪れるきっかけとなり、中心市街地の活性化に寄与するものであると考えられているが、これらの資源は、中心市街地の各所に点在しており、有機的に結びついている現状がなく、地域全体としての賑わいや魅力の向上に寄与できないような状況となっており、十分に観光客等の来訪者にPRできていない状況である。また、歴史的建築物の保全・活用事業も景観計画・景観条例の制定などがなされたばかりで、その効果も十分に発揮できていない。

そのため、これらの各資源を有機的に結びつける施策や、地域全体としての魅力の向上のための景観形成などを行い、これまでの取組を継続して実施し、多くの来訪者を迎え入れ、賑わいを形成することと、おもてなしの心で魅力ある商店街を形成することで、中心市街地の活性化を図ってきたい。

また、中心市街地において居住者が減少することは、地域住民の購買力が低下し地域の商店街の衰退や、人通りの減少、賑わいの喪失につながるため、中心市街地の定住人口を増やすことにより賑わいや、商業の活性化が促進されるものと考えられ、利便性と安心を与えられる環境の形成が今求められている。

(2)目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値 (年)	目標値 (H24fy)	最新値 (H20fy)	見通し
豊かな自然と歴史や文化がきらりと光る街(自然が息づいて、中山道中津川宿らしい文化や歴史が広がる市街地)	観光客入り込み数	324,300人 (H18)	360,000人		平成21年度 フォローアップ予定
安心で便利に暮らせる街(安心・安全にまちなかをあそぶことができ、快適で便利に暮らすことのできる市街地)	中心市街地居住人口	3,310人 (H19)	3,400人		平成21年度 フォローアップ予定
元気で活力あふれる街(住む人・訪れる人・若者が集い、みんなが楽しく過ごせる市街地)	中心市街地歩行者数	4,056人 (H19)	4,630人	4,273人 (H20)	⑤
	商業店舗数	130店舗 (H19)	135店舗		平成21年度 フォローアップ予定

- 注) ①: 事業等の進捗状況が極めて順調であり、相当程度の余裕をもって目標達成可能であると見込まれる。
②: 事業等の進捗状況が概ね予定通りであり、目標達成可能と見込まれる。
③: 事業等の進捗状況が予定通りではないものの、依然として、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
④: 事業等の進捗に相当程度の支障が生じており、目標達成が困難と見込まれ、今後対策を講じる必要がある。
⑤: 事業等が実施されていないため、今回は評価対象外。

<達成状況の評価及び見通しの理由>

中津川市は、基本理念として、「豊かな自然に生まれ、街道文化が息づき、やすらぎがあり、いきいきとしたまち中津川」とし、「住む人が住みやすく、市民や来訪者が楽しみ、人と人をつなぐ、人・モノ・情報が集まるまち＝平成の中山道中津川宿の創造」を目玉とした「中津川市中心市街地活性化基本計画」を策定し、平成20年7月9日に国の認定を受けて、3つの目標に対して5本の柱に36の事業を行い、4つの指標に向かって、行政が行う事業、民間が行う事業、官民協働で行う事業など、官民スクラムを組んでこの中心市街地活性化基本計画の事業を推進して行くこととなり、中心市街地活性化協議会の事務局を、中津川商工会議所内に設置し、協議会委員を割り振りして、各事業部会を設立し、事業ごとでの推進を図ることになった。

また、官民協働での事業推進のために、中心市街地活性化推進室を設置し市の職員を配置し、毎週水曜日を「中心市街地活性化事務局会議」と定め、進捗状況の確認を図ることとした

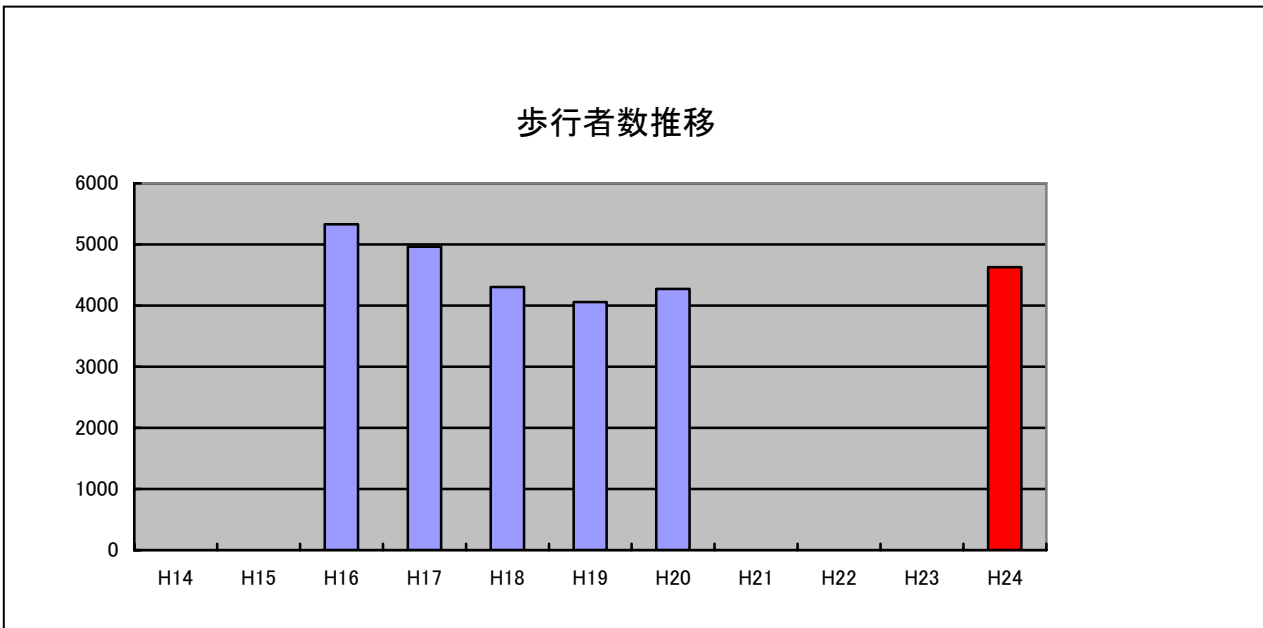
しかし、まだ各部会とも具体的に本格的な事業は行われていないのが現状で、内容について企画立案中である部分が多く、目標数値としてまだ効果があらわれてはいない。

(3) 今後の対応

- ・ 今後とも基本計画に掲載されている各事業を積極的に推進していくとともに、中心市街地の核となる施設の充実として旧ユニー跡地開発について、具体的な計画が作成された段階で、必要に応じて基本計画への事業の追加及び変更を検討していく。

Ⅱ. 目標「元気で活力あふれる街（住む人・訪れる人・若者が集い、みんなが楽しく過ごせる市街地）」

Ⅱ-1 数値目標の達成状況（「歩行者数」→目標設定の考え方基本計画 P48～P51 参照）



年 (調査月)	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20 (9)	H21	H22	H23	H24 (目標 数値)
中心市街地歩行者数	未実施	未実施	5,330	4,961	4,304	4,056	4,273				4,630

Ⅱ-2. 主要事業の進捗状況

- ・旧ユニー跡地開発事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・調査・計画中
- ・水辺空間ウォーキングルート整備事業・・・・・・・・・・企画・計画中
- ・西太田町通り路面整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・企画・計画中
- ・空き店舗対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・調査・計画中
- ・流通ポイント事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・先進地調査・計画中
- ・「にぎわいプラザ」利活用促進事業・・・・・・・・・・・・調査・計画中
- ・まちなか緑化整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・調査・計画中
- ・まちなか住民協定事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・住民意識調査中
- ・おもてなし事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・調査・計画中
- ・個店強化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一店逸品運動実施・計画中
- ・市民によるウォーキングの道づくり事業・・・・・・・・・・調査・計画中
- ・観光振興ビジョンの策定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・調査・計画中
- ・景観計画、景観条例の運用による市街地の景観形成事業・・・・調査・計画中

Ⅱ-3. 数値目標達成の見通し

- ・これらの事業はソフト事業として、民が主体で各部会において、現段階ではまだ調査・計画段階であり、数値的には表れていないが、中心市街地活性化協議会及び事業部会の委員を中心に、中

心市街地の商店街の方々と企画会議や事務局会議を行い、先進地の情報集め、視察研修、勉強会等を開催し、実施に向けて進捗管理していく。

Ⅱ-4. 今後の対応について

・今後とも基本計画に掲載されている各事業を積極的に推進していくとともに、中心市街地の核となる

施設の充実として旧ユニー跡地開発をはじめとする各事業について、具体的な計画が作成された段階

で、必要に応じて基本計画への事業の追加及び変更を検討していく。